

平成二十年三月二十八日提出  
質問第二三六号

防衛省における裏金組織についての調査に関する質問主意書

提出者 鈴木宗男

防衛省における裏金組織についての調査に関する質問主意書

「政府答弁書一」（内閣衆質一六八第三四〇号）と「政府答弁書二」（内閣衆質一六八第三八七号）を踏まえ、以下質問する。

- 一 防衛省において情報収集を主たる目的とする報償費（以下、「報償費」という。）の多くが架空の領収書で裏金化され、幹部や関係部局の裁量で使えるような組織ぐるみの不正経理を長年に渡り行っていたこと（以下、「報償費の裏金化」という。）が判明し、また、「報償費の裏金化」により裏金化された「報償費」の一部が、防衛大臣、副大臣、事務次官各室など防衛省首脳レベルの人物へも大臣官房秘書課によつて管理・配分されてきたと二〇〇七年十二月十七日付の新聞が報じたことを受け、「政府答弁書一」と「政府答弁書二」では、現在防衛省において、長岡憲宗経理装備局長を中心に「報償費」の用途等について確認する作業（以下、「作業」という。）を行っているが、「作業」の結果についてはどのような段階でどのような公表方法があるか検討している旨の答弁がなされている。「政府答弁書一」と「政府答弁書二」が閣議決定されてから既に二カ月以上が経過した現段階での「作業」の進捗状況について説明された
- い。

- 二 「作業」は会議等の形式で行われているのか、その具体的な方法について説明されたい。
  - 三 「作業」を記録した文書は作成されているか。
- 右質問する。